

【2015 年度 RFLJ プロジェクト未来 助成研究者の横顔 10 里見絵理子先生】

第 10 弾は「患者・家族のケアに関する研究」（Ⅱ分野）よりご紹介致します。

◆国立がん研究センター中央病院 緩和医療科

◆研究テーマ「患者の支援ニーズに基づいた未成年の子供をもつがん患者を支援するためのプログラムの開発」

◆助成金額 50 万円

1. 研究者になろうとしたきっかけ

がん治療医をしていたとき、また、緩和ケアチームの緩和ケア医となってから、患者さんにご家族のからだと心の苦痛を目の当たりにして、如何に苦痛緩和をして、患者さんがいつもどおりの日常生活を送ることができるのかということに興味がありました。

2. 助成研究の内容紹介

20 代～40 代でがんを発症された患者さんには、がんの経過のなかで、日常生活において、子育て中で、親としての役割を担っているかたが多くいらっしゃいます。今回、私たちのグループでは、未成年のお子さんをもつがん患者さんが、がん治療を行いながら、どのようなことに困難を感じ、また、どのような支援のニーズがあるのかを調査し、また、医療従事者としてそのような患者さんを支援するうえでの必要な知識やスキルを獲得するためのプログラムを作っていきたいと考えています。

3. 2 の将来に繋がる結果予想

多くの医療従事者が、未成年のお子さんをもつがん患者さんのニーズに基づいたケアの提供ができるような体制につながるとよいと考えています。

4. 全国の RFLJ 関係者に一言

RFLJ の一員として、笑顔でみんなが一步一步前に進めるように頑張ります！